

【新聞】日経ヴェリタス

【WEB】日経デジタル

「長寿ニッポン、世界市場を拓く 18 億人に挑む先駆企業」の中で、 ヒューマンアカデミーにおける 65 歳以上の受講生の動向、キャリアコンサルタントの受講生などが紹介されました。

● 記事内容

シニア自身も健康寿命が延びるなかで、できるだけ長く現役として働き、プライベートも充実させたいアクティブシニア志向を一段と強めている。人生 100 年時代は 65 歳以降も「余生」ではなくなってきた。

そうした現役志向のシニアの需要の受け皿も広がっている。ヒューマンホールディングス（2415）が運営する資格スクール・ヒューマンアカデミーでキャリアコンサルタントの講座が人気だ。

カウンセラーとして働く都内在住の 70 代女性は、長年、発達障害の子がいる家庭のカウンセリングを続けてきたが、発達障害者の就労支援まで仕事にできるようにと、キャリアコンサルタントの講座に通う。

ヒューマンアカデミーでは 65 歳以上の新規入会が昨年に比べ約 3%増えた。

「長年の仕事経験や得意分野を起点にしつつ、リスキリング（学び直し）で長く活躍したい高齢者が増えている」

● 掲載日

・日経ヴェリタス 8 月 13 日号

・日経デジタル 8 月 13 日、14 日配信